

2025 年度 京都ノートルダム女子大学ND 育友会総会議事録

日 時：2025 年 6 月 15 日（日）13 時 00 分～14 時 00 分

第 I 部（総会）13 時 00 分～14 時 00 分 会 場：ユージニア館 3 階 ND ホール

○ 開会宣言

松岡事務局長から、会員数 816 名に対し現時点で出席者 26 名に 790 名の委任状をあわせた 816 名となり、会則第 13 条 4 項による定足数を満たし本会が成立しているとの報告を行った。

○ 会長挨拶 本波佳由

挨拶の後、事前にいただいた質疑に対して議事進行の前に回答を行った。

（質問：4 年保証人：2 年保証人）

①ND 育友会の今後の運営について。

②次年度以降の育友会の体制と予算の見通しはどのようになっていくのか。

（回答）

- ・今年度の運営について、事業計画、予算案については、ほぼ例年と同様に進めていきたいと考えている。
- ・次年度以降の運営について、現時点ではND 育友会の活動を存続することを前提にしている。
- ・役員理事会体制は学生数減少に伴って、役員定数を減らす規約改正案を本日審議していただく。
- ・評議員については、来年に現 4 年生が退任された後、現 2～4 年生保証人様から新たに加わっていただける人を募集するのが望ましいと考えている。次の年度からも同様で、2028 年度には現 1 年生のみということになるので、次年度はもう少し多くの 1 年生保証人に関わっていただきたいと考えている。
- ・会費の値上げもかねてより協議に挙がっていたが、規約の改正が必要なので今年度以降で検討する。2026 年度～2028 年度運営については、現状の会費 1 万円で継続することを仮定して、年度ごとの予算の試算資料を基に、修正案などは今後協議していく。通常叶う大学生活のための支援（課外活動への補助、奨学金、ND 祭への補助等）については、過年度同様にできるところまでは継続支援したい。ただし、誰も直面したことのない状況のため、今後新たな施策が必要かもしれない。困難な状況であるからこそ、保証人の皆様のより積極的な関わり方が求められていると認識している。

（質問：2 年保証人）

③留学費用の支援があるかについて。

（回答）

- ・留学に関しては、今までもこれからもND 育友会としての支援はない。大学のシステムとして支援を受けていただける海外研修奨励制度、留学制度が用意されているので、お嬢様ご自身で担当の先生か国際教育課にお訊ねいただくということを、ND 育友会よりご案内申し上げます。

その他のご質問については、大学経営に関するご質問でND 育友会から回答することはできないので、中村学長よりご挨拶をいただいた後に、ご回答いただくこととする。

何より在学生の皆さんが募集停止如何に関わらず、大学生活を有意義なものとするよう支援していくことが育友会の務めであると考えてるので、ご理解いただいたうえで保証人の皆様のご参加、ご意見ご提案などをいただけることを願うものである。

○ 学長挨拶 中村久美

挨拶の後、事前に頂いた学生募集停止に関する質疑に対して、議事進行の前に回答を行った。

(質問：2年保証人)

①大学の廃止は100%確定事項なのか？ その場合最終年度まで減っていく人員予算をどう賄うのか。

(回答)

- ・100%確実になったので公表した。2029年3月に最終年度の学生が卒業するまでの財務の見込みにより、このタイミングなら責任を持って全員卒業していただけるという判断のもとに募集停止を決定した。

(質問：2年保証人)

②10年以上赤字経営のようだがその間通常の学校運営ができたのは何故。

(回答)

- ・大学経営では減価償却引当金という積立金があり、2017年から取り崩して運営継続ができた。

(質問：2年保証人)

③学生数と経営の損益分岐点は？また、このタイミングで廃校の決断に至った原因は学生数減少以外に有るのでは無いか。

(回答)

- ・損益分岐等については、本来は法人あるいは理事長がお答えすべきことではあるが、学長としても学生数と教員数のバランスは心に留めてきた。
大学経営の収入は学納金(授業料)と国の補助金が大きな柱であるが、補助金は定員充足率が交付の条件になっており、学納金の減少だけでなく補助金も減額となるため、大きく収入が減ることとなった。募集停止に至った原因については、学生数の減少が引き金になった。

○ 議長選出

会則第13条2項により、馬場副会長を議長として指名した。

◎ 《報告》

(1) 2025年度役員・評議員について

資料「2025年度役員・評議員」に基づく本波会長の報告に続き、役員・評議員の紹介を行った。

(2) 2024年度事業報告について

資料「2024年度事業報告書」に基づき嶋本総務課長から説明を行った。

◎ 《議事》

(1) 第1号議案 2024年度収支決算について

資料「2024年度収支決算(案)」に基づく吉野財務課長の説明に続き、北庄司監事から適正かつ明確に処理されていると監査報告があり、承認された。

(2) 第2号議案 2025年度事業計画について

資料「2025年度事業計画書(案)」に基づき嶋本総務課長から説明があり、承認された。

(3) 第3号議案 2025年度収支予算について

資料「2025年度収支予算書(案)」に基づき吉野財務課長から説明があり、承認された。

(質問：3年保証人)

- ・5月の時点で決まっていなかった「ND育友会特別積立金」に関してはどうか。

(回答：吉野財務課長)

- ・次年度の取り崩しを予定している。

(質問：3年保証人)

- ・2026年度以降の予算案試算(大学作成)について、5月の評議員会で会長が資料を受け取ったと聞いていたが、その後どうなっているか。

(回答：本波会長)

- ・次年度以降予算の件については、本日の理事会にて試算案を資料共有したところであるので、今後の審議になる。2026年度以降に向けた試算検討を今後の理事会で行っていく。

(4) 第4号議案 ND育友会会則一部改正案について

資料「ND育友会会則一部改正(案)新旧対照表」に基づき本波会長から説明があり、承認された。なお、資料内の文言に誤りがあり訂正した。

【誤】新(改正前)・旧(改正後) → 【正】新(改正後)・旧(改正前)

○ 松岡事務局長より閉会宣言。

○ 本波会長から今年度の主催行事に関する日程案内。

第Ⅱ部(個別相談会) 14時30分～16時30分 会場：ユージニア館2階3階各教室

個別対応の相談会が、次の内容で行われた。

- | | |
|-------------|---------------|
| (1) 成績・修学相談 | 対応：学環および学科教員 |
| (2) 就職相談 | 対応：キャリアセンター職員 |
| (3) 学生生活相談 | 対応：学生課職員 |

以上、相違ないことを証明します。

2025年7月1日

京都ノートルダム女子大学ND育友会会長

本波 佳由

